



●学校現場と CUD

12月7日(土)に、一般社団法人日本カラーコーディネーター協会主催の「CUDアドバイザーセミナー」にてトークをさせていただきました。タイトルは「学校教育の場におけるCUD (Color Universal Design) の取り入れ方」ということで自身が所属する木更津高専における取り組み事例を紹介しました。

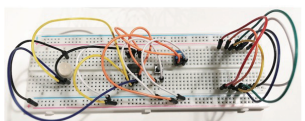
トピックは「教科としての取り組み」「学校施設へのCUDの取り入れ方と環境づくり」「学校関係者へのCUDの啓蒙活動の進め方」の3つとして、現場における気づきを共有すると共に、CUD対応にむけた提言を「授業・教育コンテンツ」「環境」「学校組織」の側面からさせて頂きました。

トークを通じて、改めて「現場を見ること」の重要性を体感する機会となりました。

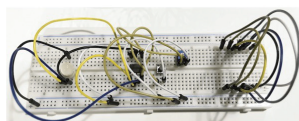
現場での気づき

教科としての取り組み

■配線コード (ジャンプワイヤー)



オリジナル



P型(1型)色覚の見え

(Adobe Photoshopを使用)

※JIS Z 9103「JIS安全色」に関連

19

2024-12-07 学校教育の場におけるCUDの取り入れ方

(吉澤陽介 主査より：022)

●新刊紹介 ヨーロッパの伝統色図鑑

書名：366日ヨーロッパの伝統色図鑑
発行：(株)パイ インターナショナル
著者：荘真木子 塚本由紀江 橋本実千代
発行：2024年12月13日 2,200円+税

この本の出版は、城一夫先生がお元気だった頃から構想が始まっていたとのこと。

書籍名にある通り、ヨーロッパの国々の色名に限定し366色が紹介されています。

1色1頁の構成で、日付、カタカナ色名、アルファベット色名、簡単な由来、色見本、カラー写真、250字ほどの説明が付されています。中でも、全ページの写真の選択は、編集時に大変なご苦労だったでしょう。

例えば、冒頭の「1/1 オーロラは、Aurora (英) / Aurore (仏)、「曙の女神に由来する朝焼けの色」の由来。写真に「夜に勝利する女神オーロラ」の絵画の写真と、朝焼けの空の写真の2点が入り、最後に250字ほどの解説が入っています。

巻末の色名索引には、CMYK値、RGB値、Web値が示され、人名索引、参考文献もあり、上記の三人のご苦労のほどが推察されます。

判型こそ文庫本並ですが、学会員の方々には、是非、座右に備えておかれることをお勧めしたいと思います。(永田泰弘)

●大辞泉ひろいよみ 74ーけ

毛染 (め)：毛染め。毛を染めること。また、その薬。

血色素：けっしきそ。血液中にある、酸素の運搬に関与する色素たんぱく。脊椎動物では赤血球中にあるヘモグロビンをさす。

血色：けっしょく。顔の色つや。顔色。血の色。血のように赤い色。

月色：月の色。月の光。月光。

血石：けっせき。濃緑色の玉髄で、酸化鉄による赤色の斑点があるもの。飾り石にする。

潔白：けっぱく。心や行いがきれいなこと。後ろ暗いところがないこと。また、そのさま。

妍：けん。優美なこと。美しいこと。

玄：げん。赤または黄を含む黒色。老荘思想で説く哲理。空間、時間を超越し、天地万象の根源となるもの。微妙で奥深いこと。

原色：混ぜ合わせて種々の色を作る元となる色。一般には赤・青・黄の三色。光の場合は、赤・緑・青の三色。まじり気のない、純度の高い色。強く派手な色。絵画の複製や印刷などで、原物・原画の元のままの色。

原色版：黄・シアン・マゼンタの三原色インキ、またはこれに墨を加えて原画と同じ色彩を出す網目凸版印刷。また、その印刷物。

*大辞泉：小学館発行国語辞典

(永田泰弘)